

2022年度グループ合計で約4億7,000万本のペットボトルを回収 セブン-イレブン店舗のペットボトル回収機設置を拡大

～レジ袋の「本部収益相当額」を活用し、2023年度中に1,000台を追加設置～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦）は、セブン-イレブン店舗へのペットボトル回収機の設置に継続して取り組み、ペットボトルの循環型リサイクル「ボトル to ボトル」を推進しております。

セブン-イレブンでは、2017年12月以降、全国各地の自治体や様々な企業をはじめ、加盟店オーナー様や地域の皆様のご理解とご協力のもと、店頭へのペットボトル回収機の設置と活用を進めております。2022年度は、有料レジ袋の販売による「本部収益相当額」を元に設置エリアを新たに1府11県、1,054台を追加し、総設置台数は2,660台となりました（2023年2月末現在、25都府県）。今後も回収機設置を推進し、ペットボトルの資源循環を促進するため、2023年度においてもレジ袋の「本部収益相当額」を活用し、さらに1,000台の追加設置を目指してまいります※1。

セブン-イレブンはこれからも、地域のお客様をはじめとした、さまざまなステークホルダーの皆様のご理解、ご協力のもと、環境配慮の取り組みを推進してまいります。

※1 2022年度のレジ袋の販売による「本部収益相当額」は、約8億8,000万円となり、ペットボトル回収機の設置費用等の一部として活用致します。

◆ペットボトル回収機設置店舗一覧 https://www.sej.co.jp/csr/environment/resources_list.html



※22年度新規エリア：1府11県（オレンジ色）

セブン&アイグループのペットボトル回収機 2022年度実績

ペットボトル回収機設置台数：3,174台（累計）

※内、セブン-イレブン：2,660台（累計）

ペットボトル回収量：約4億7,000万本 / 約12,400t